

Peaks of Phantasy シナリオ 『人形たちの意思』

作：角霧きのこ

監修：岡和田晃／水波流

【本シナリオは岡和田晃が東海大学文芸創作学科で 2019 年度秋学期に開講したゲームデザイン講義で提出された課題レポート（創作）の優秀作を、ほぼそのままの形で「FT 新聞」で配信するものです。講義内でプレイした『Peaks of Phantasy（ピークス・オブ・ファンタジー）』のシステムを使用しています。】

〇はじめに（岡和田晃）

あなたは『Peaks of Phantasy（ピークス・オブ・ファンタジー）』をご存知ですか？

2003 年にグランペールから発売されたボックス型の RPG で、デザイナーは Fuyuki（伏見健二）。

このシステムが特徴的なのは、なんとといっても、2 人専用の RPG だということ。クラシック D&D の『Blade of Vengeance』（ジム・バンブラ作、1984 年）のように、1 on 1 でデザインされた RPG の先例はありますが、国産では嚆矢とすることができます。

シンプル&スピーディーなシステムで、RPG 未経験者への紹介にも適しています。私は隠れた傑作だと断言します。

世界観はダークファンタジー。雰囲気に近いのは〈コナン〉、〈エルリック・サーガ〉、〈ファイティング・ファンタジー〉などのオールドスクール・ファンタジーでしょうか。

本作のシステムは、オープンソース RPG 『2DR』の元になりました。

『モンスターメーカーRPG リザレクション』（エンターブレイン、2002 年）のシステムを簡易化したもので、『ブルーフォレスト物語 リバイバル・エディション』（グランペール、2008 年）の付属 CD として掲載され、ウェブでも以下のリンク先で自由に閲覧することができます。

<http://gg99.web.fc2.com/2drbasic001.txt>

<https://w.atwiki.jp/etersia/pages/24.html>

事実、エテルシアワークショップの RPG の多くは、「2DR」のカスタマイズとしてデザインされています。

本シナリオは『ピークス・オブ・ファンタジー』をお持ちの方はそちらで、未所持の方は『2DR』のルールを用いてキャラクターを作成し、まずはソロアドベンチャーとしてプレイしてみてください。それが終われば、1 on 1 のシナリオとして、あなたが GM となり本作をマスタリングしていただければと思います。

なお、「2DR」を用いる場合、すべての能力初期値を「5」ではなく「6」にしてください。シナリオ中で登場するモンスターは、上記リンク先の「2DR」のルールに記載があるので、

参照してください。また、EP（エフェクトポイント）を記録するほか、敵の攻撃のダイス目で6を振った数をDP（デスシャドウポイント）として記録しておいてください。DPはEPと同様、溜まれば敵を強化するために使用することができます（「ソロプレイで敵を強化すると不利になる」って？ そんなことはありません。適宜、DPを消費したほうがいいこともあるのですよ）。

作者の角霧きのこ氏は劇団プロットプラネット所属で、劇団員が演じるマードーミステリー『月陰村の人狼』（<https://www.youtube.com/watch?v=fGJVpvsDUUU>）の動画配信なども行っています。

——それでは、1へ進んでください。

1. あなたは放浪の旅を続ける英雄、ワンダラーと呼ばれる存在です。数々の試練を乗り越えた休息に、小さな村で平穏なひと時を過ごしています。すっかり顔馴染みになった宿屋に逗留しているというわけです。

この時点で、任意の装備を整えてください。ただし使える予算は1500\$・武器は1つ・防具は2つまでとします。余った予算はそのまま財産として所持できます。

ある日、自分が泊まっている宿屋に戻ってみると、この村では少しは名の通った冒険家やってきました。外見からして成人男性で、心身共にひどく消耗しきっているようです。

自分で声をかける →2へ

そっとしておく →3へ

2. 声をかけると、男は「なあ、あんた、戦えるか？ もしそうなら手を借りたいんだ」と言ってきます。

彼はアダンと名乗りました。彼が話すところによると、彼の仲間ラウルがある人物に突然攫われてしまったのだと言います。

「ラウルを攫ったのは、ジルベールという人物だ。かつて凄腕の人形師として名を挙げた男なんだが、最近じゃ人道を外れた魔術に手を出したらしい、なんて悪い噂のほうがある有名でな……」

実際、あいつのアトリエは気味の悪い人形がうろついていた。俺じゃ力が足りない……だから、手伝ってくれないだろうか」

承諾する →4へ

拒否する →5へ

3. あなたは疲れた様子の冒険家をそっとしておこうと考えました。そんなあなたを、宿屋の主人が呼び止めます。

「ああ、ワンダラーさま。どうか、あそこにいるアダンを助けてあげてください。なんでも、一緒に冒険をしていた仲間が攫われてしまったそうで……ひどく気落ちしているんです」

世話になっている主人にそう言われては放っておけません。あなたは冒険家へ声をかけることにしました。

→2へ

4. あなたが承諾すると、アダンは顔を輝かせました。

「ありがとう、心から感謝するよ！ よければ俺も同行させてくれ。明日の朝、出発しよう」

あなたとアダンは明朝の出発を約束し、それぞれの部屋で休みました。

→6へ

5. あなたが拒否すると、アダンは残念そうに顔を曇らせました。

「そうか……。いや、いいんだ。俺の仲間だからな、俺が助けに行くよ。話を聞いてくれてありがとう」

アダンは明日の朝、再び出発するそうです。あなたは自分の部屋へ戻り、休みました。

→38へ

6. 朝になりました。

旅支度を整えたあなたは、約束通り、宿屋のロビーでアダンと待ち合わせます。

ここからはアダンが同行者としてパーティに加わります(アダンのステータスはシナリオ末尾を参照してください)。

あなたとアダンは握手を交わし、二人で宿屋を出発しました。

→7へ

7. あなたたちは村を出て、大きな森へ入りました。

木々は鬱蒼と茂り、頭上から射し込む日光をその青葉で何重にも遮っています。

「気味の悪い森だろう？ 実際、モンスターがたくさん住んでいてな……俺たちは依頼を受けて、このモンスターを狩っていたところだったんだ」
辛い過去を思い出すように眉をひそめながら、アダンはそう語ります。

彼の言葉通り、この森はモンスターの巣窟になっているようです。
SENで2DRの判定を行ってください。失敗すれば、近くの茂みから飛び出してきたハガー1体との戦闘になります。

判定に成功、または戦闘に勝利 →8へ

8. あなたたちは森の奥へと進みました。

アダンによると、この森を抜けた先にある寂れた小道を辿れば、人形師ジルベールのアトリエがあるそうです。

「ラウルは俺よりも強い奴だった。……でも長く続いた戦闘に疲れたのか、急に座り込んだんだよ。そんなとき、妙な爺さんが……ジルベールが現れた」

呟くようにそう語るアダンの背後で、茂みが蠢きます。

アンデッドドール1体との戦闘です。

戦闘に勝利 →9へ

9. 敵を倒し終わると、アダンの足が速まりました。

「ラウルを攫っていったときも、ジルベールはアンデッドドールを使役していたんだ。……きっと、そう離れたところにはいないぞ」

あなたたちはしばらく歩き回りましたが、昼だというのに薄暗く、道という道もない森の中で迷ってしまいました。

「ねえ、お兄さんたち。困ってるの？」

どこからか、少女の声がしました。

辺りを見回してみると、近くの切り株の上で、妖精がこちらを見上げています。

→10へ

10. ほとんどあなたの手と同じくらいの、小さな体をした妖精の少女は、悪戯っぽい笑みを見せてきます。

「あたしとゲームで遊んでくれる？ あなたたちが勝ったら、目的地まで案内してあげるわ！」

このままではラウルを助けに行くどころか、自分たちが救出を待つ羽目になります。承諾するしかなさそうです。

1D6 を振ってください。

1、5 が出た →11 へ

2、6 が出た →12 へ

3、4 が出た →13 へ

11. 妖精はにっこり笑って、あなたの目の前まで飛んできます。

「決まりね！ あたしと謎かけで遊んでちょうだい！

2分以内に、何か面白い謎かけを作って聞かせてね。思いついたら言うのよ！

(※ソロプレイの場合、第三者が見ても「謎」と「答え」に因果関係にある問いを、紙に書き出すことができれば OK とします)

それじゃあ、よーい、スタート！」

謎かけを作れた →14 へ

謎かけを作れなかった →15 へ

12. 妖精はにっこり笑って、あなたの目の前まで飛んできます。

「決まりね！ あたしと回文で遊んでちょうだい！

1分以内に、何か面白い回文を作って聞かせてね。思いついたら言うのよ！

回文は 1D6 をし、+2 した文字数が必要です。

それじゃあ、よーい、スタート！」

回文を作れた →14 へ

回文を作れなかった →15 へ

13. 妖精はにっこり笑って、あなたの目の前まで飛んできます。

「決まりね！ あたしと早口言葉で遊んでちょうだい！

『シチュー死守しつつ美酒飲む主人』って 3 回、1 分以内に言ってね。

それじゃあ、よーい、スタート！」

早口言葉を言えた →14 へ

早口言葉を言えなかった →15 へ

14. 見事勝ったあなたを、妖精が拍手で讃えます。

「すごーい！ じゃあ、約束通り、森の出口へ案内してあげるわね。付いてきて！」
蝶のように身軽に飛んでいく妖精を、あなたたちは追いかけます。
程なくして、森の出口が見えてきました。

→16へ

15. ゲームに負けたあなたを見て、妖精は腕を組みます。

「残念、惜しかったわね！ ……うーん、どうしても案内してほしいなら、あいつらを倒してみせて！」

妖精は近くの茂みを指さしました。あなたたちが茂みの裏を覗き込むと、そこからハガー2体が飛び出してきます。戦って勝利してください。

勝利した →14へ

16. 妖精の案内で、あなたたちは無事森を抜けました。

目の前に広がるのは、曇天の下に広がる寂れた小道です。建物どころか人工物一つ見当たらない殺風景な道に、老人の後ろ姿がありました。

彼の姿を認めた途端、アダンが叫び、武器を構えます。

「あいつだ！ あいつがジルベールだ！」

→17へ

17. アダンに武器を向けられても、目の前の老人は狼狽えたりなどしませんでした。

むしろ、子供でも迎えるかのような優しい微笑みを浮かべ、こちらを見えています。

そして、その薄い唇を動かし、あなたの名前を呼びました。

「君のことも迎えに行こうと思っていたんだ。自分から来てくれて助かるよ、アトリエで待っているね」

そう言い残すと、こちらに背を向け、小道を進んでいきます。追いかけてしようとしたあなたたちを、アンデッドドールが阻みました。アンデッドドール2体との戦闘です。

戦闘に勝利 →18へ

18. 戦闘を終えると、アダンは武器を収めることもなく、小道を走り始めました。

「ここをまっすぐ行けばジルベールのアトリエだ。あそこにはもっと気味の悪い人形がいる……気をつけろ！」

走りながら、アダンはあなたに話しかけてきます。

しばらく道を進むと、古びた屋敷が見えました。ジルベールのアトリエはこの屋敷だ、とアダンは語ります。

屋敷を見た瞬間、脳裏に何かがよぎりました。何か忘れていることがあるように思うものの、詳しくは思い出せません。

あなたたちは屋敷の中へ入りました。

→19へ

19. 屋敷の中は、いくつかの古いランプが、小さな光を灯していました。奥へ進もうとしたあなたの肩を突然アダンの手が掴み、暗がりへ引っ張り込みます。「隠れろ！ ……人形がうろついてる！」

言われた通りに息を潜めていると、何か動く気配を感じました。

それは一見しただけでは人間に見えましたが、その表情は虚ろで、関節の動きもギシギシとぎこちなく、操り人形のようにです。

SENで2DRの判定を行い、失敗すると人形1体との戦闘になります。

(人形のステータスはシナリオ末尾を参照してください)

判定に成功、または戦闘に勝利 →20へ

20. 人形を上手くやり過ごしたあなたたちは、ゆっくりと屋敷の奥へ進みました。時折、人形の関節が軋む音が聞こえてくるものの、辺りに散らばるものを調べることができそうです。

文机の上に置かれた本を調べる→21へ

本棚に並ぶ魔術書を調べる→22へ

床に散らばる資料を調べる→23へ

21. 文机の上に置かれた本を手にとってみると、誰かの日記であることがわかりました。名前は明記されていませんが、おそらくジルベールのものでしょう。記されている日付は、今より20年前です。

『なんということだ。最愛の妻ばかりでなく、たった一人の息子までも病魔に奪われてしまうとは。神は、どこまで私を絶望させるつもりなのだろうか。

憎い。私から全てを奪った運命が憎い。そうだ、奪い返してやろう。どんな手段を使っても、私は家族を取り戻す』

乱れた筆跡で、そう書き殴ってあります。

それ以外のページはひどく汚れていたり破かれたりしていて、内容が確認できません。

本棚に並ぶ魔術書を調べる →22 へ

床に散らばる資料を調べる →23 へ

全ての探索が終了した →24 へ

22. 本棚を見てみると、一冊だけ使い古されている魔術書がありました。

あなたは魔術を習得できないワンダラーであるため、内容がよくわかりません。

魔術を習得しているアダンを呼び、魔術書を見せてみました。

「うーん……だいたいレベルの高い魔術について書いてあるな。詳しいことは俺にもわからない。だが、“人間を作り出す”ことがこの魔術の目的らしい」

文机の上に置かれた本を調べる →21 へ

床に散らばる資料を調べる →23 へ

全ての探索が終了した →24 へ

23. 床に散らばっている紙を拾い上げると、何かの記録が書かれていました。

『1号機-失敗、2号機-失敗、3号機-失敗、
……16号機-試作品として稼働。17号機-失敗、18号機-失敗……
24号機-試作品として稼働。25号機-失敗……』

“16号機”と“24号機”以外は、全て失敗と書かれています。

これがジルベールの記録だとすれば、彼は今まで2つの“試作品”を作り出しているようです。

しかし、一体何の試作品なのか等、詳細情報は記されていません。

文机の上に置かれた本を調べる →21 へ

本棚に並ぶ魔術書を調べる →22 へ

全ての探索が終了した →24 へ

24. 探索を終えたあなたたちは、さらに屋敷の奥へ進み、階段を見つけました。

そっと階段を上っていくと、微かな物音が上階から聞こえてきます。上りきった先には、1つだけ開け放された部屋がありました。

「ラウル！ そこにいるのか！？」

あなたの制止も聞かず、アダムはその部屋へ走っていきます。そして、部屋の入り口で立ち尽くしました。

「……ジルベール……！！」

アダムに憎々しそうな声で呼ばれた人形師は、部屋の中で穏やかな微笑みを浮かべています。

→25へ

25. 部屋の中は怪しげな魔術道具と、作りかけの人形で満たされていました。

「やあ、よく来たね。待っていたよ」

穏やかな声で語りかけてくるジルベールの傍らには大きな作業台があり、その上で男性が一人眠っているようでした。

アダムのほうを振り向くと、彼はまた武器を構え始めています。

「ああ、あそこで眠ってる奴がラウルだ。俺の仲間を返してもらおうか！」

しかし、ジルベールは困ったような笑みを浮かべます。

「返すも何も、この子は元々私のものだよ。私が作り出した“試作品”だ。人間そっくりに作られてはいるが、まだ完全ではない……ただの人形だよ」

「……お前、何を言っているんだ？」

呆気にとられているアダムをよそに、ジルベールは作業台の上のラウルに手をかざしました。何かの術式を展開したようです。

「ちょうどいい、点検が終わったところなんだ。動作の試験を手伝ってもらおうか。さあ、戦っておいで、ラウル」

先程見かけた人形と同じ虚ろな表情で、ラウルは作業台から起き上がりました。

ここで、現時点での DP と EP を比較してください。同値の場合はダイスで決めてください。

DP のほうが高い →26へ

EP のほうが高い →27へ

26. ジルベールからロングシミターとチェインメールを与えられたラウルは、虚ろな目でこちらへ武器を向けます。

「ラウル！ 俺だ、アダムだよ！ 目を覚ましてくれ！！」

アダムの必死の叫びも、ラウルの耳には届いていないようです。

ラウルと戦闘し、勝利してください(ステータスはシナリオ末尾を参照してください)。

27. ジルベールからロングシミターとチェインメールを与えられたラウルは、虚ろな目でこちらへ武器を向けます。

「ラウル！ 俺だ、アダンだよ！ 目を覚ましてくれ！！」

アダンの必死の叫びに、ラウルの瞳が揺らぎます。

「……アダン」

抑揚のない声で呟いたラウルの目に、光が戻っていきました。

→29へ

28. あなたとアダンの攻撃を受けて、ラウルは倒れ伏しました。

「ラウル……どうして、こんなことに」

アダンが膝をつき、沈んだ声で呟きます。そんな彼の前で、倒れているラウルの指がぴくりと動きました。

「やれやれ、所詮は試作品か……もう少し丈夫に作った方がよさそうだ、な——」

ラウルの後ろでその様子を見ていたジルベールの声が詰まります。倒れていたラウルが立ち上がり、素早くジルベールを斬りつけたのです。

「馬鹿な……命令に逆らえないはずのお前が、なぜ……」

倒れたジルベールの掠れた呟きには答えず、ラウルはアダンのほうを振り向きしました。

「……ごめんな。アダン」

それだけをゆっくりと口にして、ラウルはジルベールの近くに倒れ、そのまま動かなくなりました。

→30へ

29. あなたとアダンに向けていた武器を下ろし、ラウルはジルベールのほうへ振り返りました。

「なぜだ？ お前は私の命令に逆らえないはず、だ——」

その様子を見ていたジルベールの声が詰まります。ラウルが素早くジルベールに駆け寄り、斬りつけたのです。

「……お前が作りたかったのは、“人形”じゃなくて“人間”なんだろう。お前の知っている“人間”は、親の命令に決して逆らわない奴だったのか？」

倒れたジルベールに、ラウルがそう問いかけると、ジルベールは力無く微笑みました。

「ああ……そういえばあいつも、私の言うことを聞かなかったな……」

それだけをゆっくりと口にして、ジルベールはその目を閉ざし、そのまま動かなくなり
ました。

→31へ

30. 室内には、アダンのすすり泣きが響いています。

あなたは改めて部屋の中を見回してみました。先ほどまで気にする余裕がありません
でしたが、道具で溢れかえった部屋の中で、一カ所だけ書類が積み上げられている場所が
あります。

→32へ

31. アダンはラウルの元に駆け寄り、再会と無事を喜びあっています。

あなたは改めて部屋の中を見回してみました。先ほどまで気にする余裕がありません
でしたが、道具で溢れかえった部屋の中で、一カ所だけ書類が積み上げられている場所が
あります。

→32へ

32. あなたは書類を手に取り、内容をよく見てみました。

どうやら、人形たちの設計図のようです。1号機、2号機、などと1つ1つ番号が書か
れており、その横には名前らしい単語も記されています。

そうして1枚1枚見ていくと、あなたは“16号機”と“24号機”、2つの試作品の設計
図を見つけました。

“24号機”ラウルの設計図と、“16号機”——あなたの名前が記された、設計図です。

『16号機——英雄ワンダラーと同程度の能力に設定。自分のことをワンダラーである
と認識させ、試作品として稼働試験を行う』

設計図に記されていたその文章を見て、あなたは全てを悟ります。

自分はワンダラーだという記憶を植え付けられた人形である、と。そして、自分の生み
の親は、たった今自分の目の前で死んでしまった、と。

31を経ている →33へ

31を経していない →34へ

33. 書類を見つめているあなたのもとへ、アダンとラウルがやってきます。

「どうしたんだ、何か見つけたか？」

アダンの問いに、あなたは自分が知った事実を話しました。

「そうか……君も、僕と同じだったんだな」

ラウルは、そっとあなたの肩に手を置きます。

「俺たちは、このまま旅を続けることにしたよ。ラウルが人形だってことは、俺にとっ
ちや些細なことだからな。それに、ラウルは立派な“人間”だ」

どうやら、二人は外に出ることを決めているようです。

二人と一緒に外に出る →35へ

このまま屋敷に残る →37へ

34. 書類を見つめているあなたのもとへ、アダンがやってきます。

「どうしたんだ、何か見つけたか？」

アダンの問いに、あなたは自分が知った事実を話しました。

「……ラウルは最期に、ちゃんと自分の意思で動いた。あいつは立派な“人間”だった
よ。だから、きっとあんたも……」

どうやら、アダンは外に出ることを決めているようです。

アダンと一緒に外に出る →36へ

このまま屋敷に残る →37へ

35. あなたは、アダンとラウルとともに、屋敷の外へ出ました。

「大丈夫。僕たちは、ちゃんと自分の意思で歩いていける。いつ動きが止まるかわから
ないってことだって、普通の生き物と一緒にさ」

ラウルは、そう言ってあなたと握手を交わします。

「俺の仲間を助けてくれて、本当にありがとう。あんたのこの先の幸せを祈ってるよ」
アダンは微笑んで、あなたを抱擁しました。

あなたは依頼の報酬として 1000\$を受け取り、アダンたちと別れました。

これからの旅路でも、あなたはあなたの選択で、あなたの意思で、進んでいくことがで
きるでしょう……—。

[END1 明るい旅路と、自分の意思]

36. あなたは、アダンとともに、屋敷の外へ出ました。

「俺の仲間と一緒に助けに来てくれて、ありがとうな。あんたのこの先の幸せを祈って

るよ」

アダンが微笑んで、あなたと握手を交わしました。

あなたは依頼の報酬として 1000\$を受け取り、アダンと別れました。

これからの旅路でも、あなたはあなたの選択で、あなたの意思で、進んでいくことができるでしょう……—。

[END2 寂しい別離と、自分の意思]

37. あなたは、外に出て行く人間を見送りました。

ただ虚ろに歩き回る失敗作たちしかいない屋敷の中、ジルベールの亡骸の傍へ、そっと座り込みます。

自分が信じていたものは、全て偽物。生みの親は死に、自分もいつ動きを止めるかわからない。そんな状況で、旅を続けることはできない。それも、あなたの選択でした。心なしか、関節がぎこちなく軋むように感じます。その感覚も受け入れるように、あなたはそっと目を閉ざしました……—。

[END3 停止という意味]

38. 翌朝、アダンが一人で旅立っていきました。

あなたはそれからもしばらく村で過ごしましたが、アダンと再会することはありませんでした。

数日後、あなたがまた冒険の旅へ出ようとする、あなたは自分の体に違和感を覚えま

す。関節の動きが以前よりぎこちなく、五感も少し鈍くなったようです。

僅かな不快感をごまかしながら、あなたは未知の旅へ繰り出しました……—。

[END4 拒絶という意味]

[シナリオ限定キャラクター ステータス]

・アダン

STR: 4 DEX: 4

SEN: 4 WIS: 4

HP: 30 MP: 20

B～C/命中値6/回避4/ダメージ8/アーマー3

レイピア、ブレストプレートを装備

魔法「タイニーヒール」を習得済み

・人間にそっくりな人形

STR: 5 DEX: 5

SEN: 4 WIS: 3

HP: 30 MP: 10

距離条件B/命中値6/回避4/ダメージ10/アーマー10

・ラウル

STR: 6 DEX: 6

SEN: 6 WIS: 4

HP: 35 MP: 15

距離条件B/命中値7/回避5/ダメージ14/アーマー4

ロングシミター、チェーンメイルを装備